

日本一の水源の郷をめざす道志村



17名の巣立ち

- 平成26年度予算の内容 P2～4
- 一般質問（これが聞きたい） P6～11
- あの一般質問は・今（景観計画案が承認される） P14
- 紹介／がんばる人紹介 P15～16

を可決 前年度比

プラス
42.7%

平成26年3月定例会は3月10日～20日までの会期で開かれました。
一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例改正、新年度当初予算を可決し、監査委員、
固定資産評価審査委員、教育委員の選任同意をしました。

- ★平成26年度当初予算は一般会計の中で前年度比42.7%の伸びがあります。
これは中学校校舎建て替えに必要なお金で伸びています。
お金の入るところは、おもに村の借金と国の補助金でまかなわれる予定です。



建替え予定の道志中学校

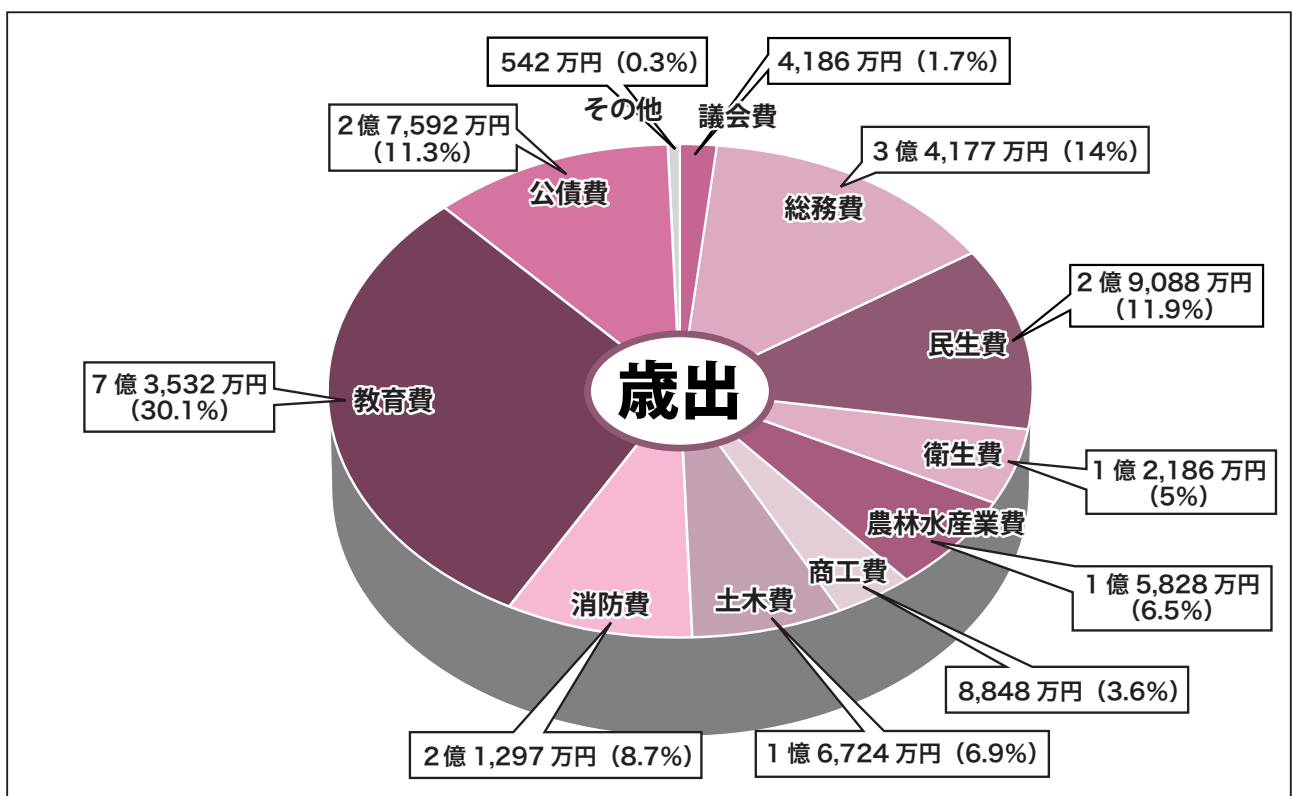
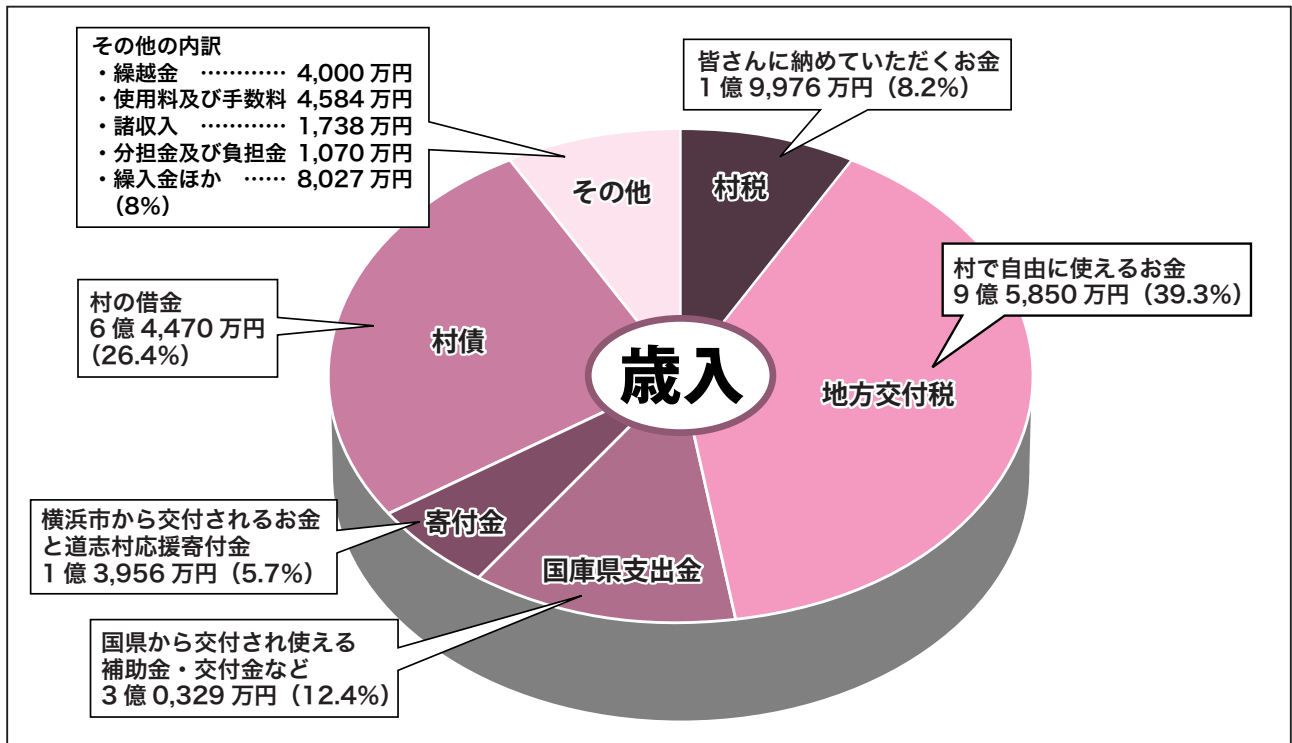


平成26年度 長田村長の施政方針

「安心、安全な村づくり」を
定住促進、子育て支援、地域医療
介護福祉などの充実を図りたい

平成26年度 一般会計予算

24億4,000万円



※数値は万円単位に調整してあります。

一般会計予算の主な事業は

総務課	街路灯管理事業 2,300 万円、公共交通対策 800 万円、地域おこし協力隊事業 2,100 万円、情報通信施設管理事業 1,500 万円、消防施設整備事業 5,870 万円
住民健康課	児童健全育成事業 388 万円、児童手当助成事業 2,390 万円、重度心身障害者医療費助成事業 1,380 万円、在宅福祉ふれあいサービス事業 294 万円、介護慰労金支給事業 192 万円、にっこりコール事業 224 万円、予防接種事業 486 万円、すこやか子育て医療費助成事業 591 万円、老人保健事業 745 万円、母子衛生費 125 万円、妊産婦、乳幼児健康診査事業 161 万円
産業振興課	エコライフ促進助成事業 100 万円、農村地域防災減災事業 3,456 万円、地籍調査事業 1,161 万円、林業振興費 3,639 万円、池之原地区森林整備事業 550 万円、森林整備地域活動支援交付金事業 631 万円、林道維持費 526 万円、観光費 7,744 万円、観光施設等整備事業 3,539 万円、土木総務費 1 億 0,296 万円、村道板橋線開設事業 580 万円
教育委員会	JET プログラム推進事業 456 万円、学校スクールバス委託事業 4,257 万円、高等学校等就学に対する助成事業 624 万円、中学校改築事業 5 億 7,114 万円、学校給食事業 2,372 万円、スポーツプラザ屋内プール管理事業 803 万円

平成 26 年度特別会計予算

会計名	26年度予算額	25年度予算額	前年度比
国民健康保険	2億9,132万円	3億 25万円	△3.0%
国民健康保険診療所	1億4,479万円	1億3,310万円	8.8%
簡易水道事業	1億3,171万円	1億2,326万円	6.9%
介護保険	2億3,259万円	1億9,910万円	16.8%
介護保険サービス事業	131万円	134万円	△2.1%
浄化槽事業	1億2,404万円	1億2,036万円	3.1%
後期高齢者医療	4,530万円	4,493万円	0.8%
合計	9億7,106万円	9億2,234万円	5.3%

おもな補正予算

● 一般会計補正 3,880万円 減額

おもな財源(歳入)

村 税	1,185万円	増
地方交付税	1,806万円	増
国庫補助金	822万円	減
寄付金	934万円	減
村債(借金)	4,780万円	減

おもな使い道(歳出)

総務監理費	2,254万円	減
社会福祉費	2,639万円	減
農林水産業費	4,213万円	減
諸支出金	1億0,125万円	増

● 特別会計補正は、7会計とも期末による会計処理がほとんどですので、特別記載しません。

視 点

総体的に税収が伸びぎみで、増えた事は喜ばしいと思います。使い道の中で、諸支出金が増えたのは、公共施設整備等基金の積立金が目立ちます。

一部の議案等の審議内容

- 議案第1号 国民健康保険診療所、歯科診療所条例の改正 ……消費税の増税による改正
- 議案第2号 重度心身障害者医療費助成条例の改正 ……医療費を一度自己負担してから後日還付される
- 議案第3号 水道給水条例の改正 ……消費税の増税による改正
- 議案第4号 浄化槽条例の改正 ……消費税の増税による改正
- 議案第5号 社会教育委員条例の改正 …委員選任方法と教育委員会が委嘱する追加条例
- 議案第6号 公民館設置管理条例の改正 ……樺地区公民館を削除する
- 議案第7号 富士吉田市外一市二町四村一組合ことばの教室設置協議会規約の変更 ……都留市が脱会したことによる規約改正
- 議案第8号 過疎地域自立促進計画の変更 ……事業の計画変更による
- 議案第9号 水源の森指定管理者の指定について ……「名水そばの会」に指定する
- 議案第10号 グリーンロッジの指定管理者の指定について ……「グリーンロッジ管理組合」に指定する
- 同意第1号 監査委員の選任同意について ……佐藤久重氏に同意
- 同意第2号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意について ……柏村英輝氏に同意
- 同意第3号 教育委員会委員任命同意について ……池谷幸昌氏に同意

Q 当初予算の 目玉は何か



出羽

Q 具体的な事業名と予算額は

村長

A 林業政策

- ・ 森林整備事業 555万円
- ・ 路網整備事業 500万円
- ・ 森林整備地域活動支援交付金事業630万円等の事業により森林整備を促進し、森林環境を整えることによる景観の保全や水資源の確保を目的し横浜市民の水源地として上流の役割を果たします。さらに、横浜市と交流することで観光産業の振興にも期待できます。

A 福祉政策

- ・ 人間ドッグ検診事業 240万円

出羽

Q 大雪被害問題点の検証と対応策は

A 危機管理体制の見直しをする

村長

当初ここまでの積雪は予想できず、除雪作業は難航を極め、



2月15日の大雪

交通規制の解除まで数日間かかり、村民の皆様にはご迷惑をかけた。

今回の災害を教訓として、一連の問題点を抽出し、検証を重ね対応することで、危機管理体制の確立を図っていきます。

出羽

Q 学校の建て替えは

A 温もりの木造校舎

村長

26年度当初予算には、中学校の第1期工事分5億7114万円、また、27年度には、中学校の第2期工事と並行して、小学校の新築工事も予定しており、事業完了後は、小学校・中学校一体の校舎で地域が一丸となり、これからの児童・生徒の育成ができる教育環境が整います。

また、木造校舎にこだわった理由のひとつに、木材の需要を促すことで、林業・木材産業の振興を促進し、地域の再生を図ることもできると考えます。

「再質問あり」

Q 斎場の 建設計画は



たかあき
池谷高明 議員

池谷

村内には民間、公営とも斎場がない。村内に斎場がない問題点として、以下の4つが挙げられます。斎場まで距離があるため遺族、参列者の交通費負担が大きい。冬の葬儀が多く、路面状況が悪く危険。村外に村内のお金が出てしまっている。民間の斎場は金額が高く遺族の負担が大きい。

A 村民のニーズや必要性について検証したい

村長

道志村の人口は、

各種の施策に取組んでいるにもかかわらず、平成20年度以降2,000人を割り込み、年々減少しています。その一つの要因として出生者に対して、死亡者が上回っていることが、大きな原因と考えられます。

その死亡者数は、平成21年度に33人、平成24年度には16人の死亡届けが提出されています。そのうち、平成22年度からはすべてが、村外による火葬届けになっています。

池谷議員のご質問のとおり、村外で通夜と葬儀を行う場合には、関係者の移動時間の負担や経費の負担などが課題として考えられます。

現在、村の計画の中に、斎場の建設計画

はありません。しかし、村民のニーズ調査やその必要性について検証していきたいと考えております。

池谷

Q 粗大ごみの収集について

粗大ごみの収集場所が村内に数か所あります。

しかし、収集場所が少ないため、体が不自由な方や車がない方、別荘に住んでいる方にも不便であるとの声があります。そこで、各地域にあるごみステーションを収集場所とすることは可能でしょうか。

A ボランテニア等の支援検討

産業振興課長

粗大ごみにつきま

しては、比較的大きなものが想定されることから、収集場所についても広い場所であること。また、収集車も4tクラスの大型車にて収集しております。

各地域にあるごみステーションでは狭く道路上の収集になりますので危険が伴うことから不可能か

と思います。

現在収集は7月及び11月の日曜日の年2回行われていますので、体が不自由な方や車の無い方におきましては、ボランテニア等の方々の支援等検討が必要かと思えます。

「再質問あり」



ごみステーション

Q 大雪災害と今後の対応について



ひろやす
山口博康 議員

山口博康

2月14・15日の豪雪は、通行止めが長く村民生活に大きな支障が生じました。

この間、情報が少なく、村民の不満を募らせたものです。今後は、業者の作業状況等を調査して村民に情報を発信すべきだと考えます。豪雨や台風等の災害と合わせて情報の発信方法についての考えと、除雪に必要な重機の一一般村民所有の応援システムが構築できないか、お伺いいたします。

A 今回の対策を検証し必要な対策を講じます

産業振興課長

今回の大雪は過去に経験したことがなく、村民の皆様も不安な気持ちで過ごされたことと思います。特に国道、

県道の通行止め期間が長引いてしまい、村としましても建設事務所に頻繁に連絡を取り、

情報の収集を行いました。情報が大量な雪で危険な状況であったため除雪作業に長い時間がかかり、終了の予測が困難であったと思われま

す。今後は、今回の対策を検証すると共に、データを分析して管理者である県と連携を図り、村民に必要な情報は個別端末や防災無線を利用し発信していきたいと考えています。次に現在除雪を依頼している業者は11業者であり、除雪費を1時間単位で支払っている関係から、効率的で大きめの重機での除雪を考えています。

今回のような大量な除雪は、危険作業であるため、保険等の対応を考えますと一般の方

にお願いすることは現在考えておりません。

山口博康

Q 公共工事の予算について

26年度予算について、安倍のミクスによる影響での本村予算への波及効果と、主な公共事業、野原・月夜野間のトンネルについての進捗状況をお聞かせください。

A 概ね順調に推移しています

産業振興課長

前年度繰越事業において景気浮揚の予算措置が有り、道の駅非常用発電機や耐震性貯水槽の設置、林道橋の耐震改修を実施しております。

平成26年度の公共事業については、道志中

学校の建設、村道板橋線開設、村道白井平線の白井橋修繕工事、その他県営工事になります。

中山間地域総合整備事業は、小善地農道開設工事、長幡東地区の水道整備です。

また、農村地域防災減災事業は、中神地区の土砂崩壊防止施設工事、谷相地区の農業用排水施設工事、大室指地区の緊急避難路整備工事など予定しています。

次に、野原・月夜野間のトンネルの進捗につきましても、地形測量・路線測量が終了し、詳細設計を現在実施中とのことです。今後は、用地取得に向けた測量の実施を予定しております。

また、国道改良予定につきましても、谷相地内の国道拡幅改良調

査を予定しておりますが、確実に土地確保が条件となります。

今後、地権者各位にご協力をいただき早期の実施をお願いして行きたいと思っております。宜しく申し上げます。(公図・登記簿・買収承諾書等)

「再質問あり」



解体予定の楯公民館

Q 当初予算の 景気対策は



ひであき
杉本秀明 議員

杉本

この山間部の村に
税収を伸ばす手立て
は、観光、農業、林業、
小水力発電など、こ
の村だからこそ出来
る事業の展開を強力
に推進する必要があります
と思います。

そこで、平成26年
度の景気対策はどの
ようにするのかお聞
き致します。

A 村だからこそ出
来る事業を強力
に推進

産業振興課長

この村だからこそ
出来る事業の展開を、
強力に推進する必要
があります、観光に
つきましては、観光
協会の組織強化を図
りつつ連携を重視し、
集客に努めて行きた
いと思います。
農業につきまして

は、道の駅等の販売
経路が確立されたこ
とにより、鳥獣害防
止施策を推進し、耕
作放棄地の解消を進
める中、新規作物の
開発と推進を図り、
農家の耕作意欲の増
進と六次産業化に努
めたいと思います。

林業につきまして
は、森林整備を目的
に木質バイオマスボ
イラーに係る木
の駅の運営を継続し、
間伐材の搬出に寄与
していきたいと思
いますが、森林環境税
事業を取り入れ、森
林の環境保全に努め
て行きたいと思
います。

次に、小水力発電
につきましては、エ
ネルギー局と連携し
調査研究をしてきま
したが、今後は、太陽
光発電施設の設置に
重点を置き進めて行

きたいと思いま
す

杉本

Q スポーツ振興と
地域活性化

スポーツの振興を
図ることで、地域の
活性化や、連帯感の
充実を図り、ますま
す住みよい環境を作
る必要があると思
う
ところです。

スポーツ人口の増
加と今後の取り組み
について、どのよう
にお考えかお聞き致
します。

A 各種大会を開き
ながら推進

教育長

現在、スポーツ推
進委員が中心となっ
て、軽スポーツ等を
推進して、村民のス
ポーツ振興を目指し
ておりますが、十数

年前に比べると、ス
ポーツチームの数は
減っております。ま
た、スポーツ少年団
で活動をしている子
どもの数も減ってお
ります。今後ですが、
年1回くらいスポー
ツ大会を開催し、参

加してもらおうよう進
めていくことにより、
スポーツ競技人口の
増加にもつながる可
能性もあるのではな
いかと思います。

「再質問あり」



体育祭風景

Q 国道413号線 改良について



長田

国道413号線の和出村地区、キスミ1前の右折ラインや池の原橋の一方通行の解消など一体改良を2年間にわたり、お尋ねしてきましたが、現在の状況をお聞きします。

また、村長にはこの事業を前向きに進めて頂きたいと思いますが、いかがでしょうか。

**A 補助事業の選択と
要望書の提出で**

産業振興課長

現在、道志中学校敷地内に小・中学校校舎の建設が進むなか池之原橋の拡幅改良と国道への右折ライン設置については、必要であると認識しております。

本箇所への右折ラインにつきましては、橋への距離が短いことから、家屋等の移転が想定され国道改良も難航すると思われま

財源の厳しい昨今、池之原橋の改良については、なるべく有利な補助事業をサーチすると共に、右折ラインについては、国道管理者である山梨県への要望と協議を継続して行きたいと考えています。

長田

**Q 横浜市からの
助成について**

昨年12月の定例会でもお尋ねしましたが、平成26年度で浄化槽事業が終了となります。

これにかわる事業

や方策を考えているかをお尋ねします。

**A 新規助成事業を
要望していく**

産業振興課長

合併浄化槽につきましては、事業が終了してからも浄化槽の維持管理費について助成が受けられません。

事業につきましては、現在までの合併浄化槽の要望調査を実施したところ、平成26年度終了後、30数基が残りますので、2年程度の事業実施の延長を横浜市と協議する予定です。

また、今後は、上水道の整備や水の本質である森林の整備等につきまして、助成していただけるよう協議し、要望をして

いきたいと考えています。

「再質問あり」



Q 各指定管理の運営 状況について



大田

- 平成24年4月から平成29年3月31日まで運営している指定管理事業について
- ① 基準に基づいた運営をしているか。
 - ② 純利益は改善されているか。
 - ③ 村では、これらの進展についてはどんな支援をしているのか。

A 運営方法を改善し 赤字解消に努める

産業振興課長

本村では12の施設を管理委託施設として協定を締結しております。

「基準に基づいた運営をしているか」ですが、村では指定管理者と協定書を締結し、毎年度、事業報告書を提出していただ

き運営状況を把握しております。

この報告書から協定に基づいた運営が行われていると確認しております。

次に、「純利益は改善されているか」ですが、昨年度報告書で見ると5施設が赤字となっております。

各指定管理者は利益を上げるため経費の削減、原材料等の購入方法を検討しながら利益の増加に努めております。

次に、「村では、これらの進展についてはどのような支援をしているか」ですが、村では協定書に基づいた支援をしております。

村のホームページ、ツイッター、告知端末、パンフレットによる情報発信、指定管理者との運営協議

等を行っています。
また、村では利用者へのニーズを把握するためのアンケート調査を行い、運営方法を考え売上の増加につながるよう支援していきたいと考えています。

「再質問あり」



議会活動報告 (特別委員会)

出会いサークル部会 (平成 26 年 1 月～ 3 月)

(結婚相談事業スタート) 結婚を望む人を支援するため、結婚相談員さんと対象者を訪問し結婚相談カードを配布しました。結果 10 名の方々の申し込みがありました。具体的に何ができるのか、どんな形の出会いがいいのか、本人の望むことを聞きながら活動を展開していくことになりました。相談カードはいつでも受付けています。(住民福祉係 TEL 0554-52-2113)

政策部会 (新たなヘリポートを模索)

政策部会では、交通事故や急病人の搬送及び災害対策時の緊急物資の輸送などに必要なヘリポートの設置について、川原畑以西に 1 カ所設置したいと考え、候補地を現地視察しました。これから設置条件などを検討し、候補地を選定し、ヘリポートの設置を提言していきます。



久保地区ヘリポート

政策提言が予算化

1 月 9 日、政策提言書を村長に提出し 26 年度の予算化をお願いしました。結果は次のとおり

- * 森林環境税を導入し、間伐を行えば山林所有者の負担が無く、山の手入れができることから森林組合と連携し、森林整備を行う。そのための測量費及び作業道改良等として…354 万円補助
- * 結婚祝金として、5 万円を 20 万円にすることをお願いしましたが予算化されませんでした。しかし、今定例会の協議会において再度要望したところ、補正予算で対応するとの回答をいただきました。

こんな声をいただきました あなたの声を議会に (21 号)



ご意見に対しては、本人に直接お答えをしています。

- ・子供のために遊べる場所を作ってほしい。
- ・中学校の女子の部活をソフトだけではなく、卓球もできるようにしてほしい。
- ・子育て支援にもっと力を入れてほしい。

33 歳 女性

合併浄化槽の整備事業が平成 26 年度で終了となりますが、横浜市が延長継続できない場合、具体的にどんな事業で横浜市から補助金をもってくるのか、村長の考えをお聞かせ下さい。

57 歳 男性

- ・浄化槽の設置を完了し、安心して暮らせませす。
- ・国道の交通事故箇所について、多発する場所を重点的にスピードを落とさせる標識、赤色ランプ等の設置ができないでしょうか。大栗の北海屋前は本日 (12/30) で、今年 3 回目だと思われます。

59 歳 男性

* 議会だより No21 : クイズチャレンジの回答 ① → ○ ② → ○ ③ → ×



議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



協議会の様子

Q 2月の豪雪に対する初動対応と今後の課題

- 今回の豪雪、当局の対応について、対策本部の設置が遅かったのではないか。また、除雪、道路開通等の情報が随時、村民に伝えられなかったのではないか。

A 1m以上の積雪のため一部の職員しか登庁できず対応が遅れてしまった。また除雪や道路状況情報も、随時早めに知らせて行きたい。

Q 道志小、中学校校舎建て替えについて

- 小、中学校建設整備検討委員会で進めている校舎建て替えの進捗状況は。

A 平成26年度中学校「第一期工事」、平成27年度中学校「第二期工事」と小学校工事に入る予定です。



Q 今後の浄化槽事業について

- 浄化槽事業は平成26年度で終了になるが、その後の予定はどうなるのか。

A 現時点で約30基残るが、浄化槽事業の方針を横浜市と協議し、2年程度延長して100%を目標に進めていきたい。





あの一般質問は今...

平成24年3月定例会

質問

道志村の景観形成の進め方について

答弁

景観計画案を作成し関係機関と調整しながら道志村に相応しい計画を策定したい。

平成25年3月定例会

質問

森林環境税を活用した森林整備について

答弁

森林所有者の理解と協力を得て積極的に推進したい。

その結果 **今は**



看板も景観のひとつ

平成24年度に「道志村景観計画策定審議会」を立ち上げ、「道志村景観計画案」について審議を重ねてきました。その間、住民説明会や、パブリックコメントによって、村民の意見も伺い、平成26年3月の第7回審議会で計画案が承認されました。



木の駅 集材場

平成25年度、森林組合が事業主体で白井平の民有林約20HAをモデル地区として間伐を中心とした整備を実施している。

道志村でも平成26年度予算に計上して民有林の整備に積極的に取り組む。

議会の考え

関連する法律と併せて推進して行かなければなりません、村民の足かせにならないよう配慮が必要。

森林整備は重要な課題です。森林組合が実施する測量等の経費の一部を助成していきます。

卓球で 健康管理



会長 高瀬 幸雄さん

紹介
しょうかい

元気クラブ



参加者のみなさん

私たちは、道志「元気クラブ」という卓球（ピンポン）の同好会を通じて、身体改善や健康増進を図りながら、会員相互の親睦と交流を深めることを目的に、金曜日、日曜日の週2回の練習に励んでいます。現在会員数は34名ですが、一緒に卓球をしたい方がおられましたら、どうぞご連絡ください。

さわやかな汗を一緒に流しませんか。大歓迎します。最近では山中湖の卓球クラブとの交流試合や、村内卓球大会、山梨県主催の「ねんりんピック」などへの参加もしています。創立4年目ですが、もっともっと頑張りたいと思います。体をうごかし、汗をかき、大きな笑い声を出し、皆で楽しんでいます。



練習も楽しいよ



時には真剣に!

がんばる人紹介

100年に渡る水源林管理と水源保全

水源林管理所長に着任してから2年が経ちます。

この間、水源林の管理を進める一方で、村主催の行事や地区のお祭りなどにも参加させていただき、楽しく過ごさせていただいています。横浜から来た私を暖かく向かい入れていただき、村民の皆様には心より感謝申し上げます。さて、横浜市が道志村内の「山梨県恩賜県有林」を取得（大正5年5月）し、「横浜市有道志水源林」として管理を始めてから今年で98年になります。現在は、「水源かん養機能」の維持・増進を目指して、「天然林」、「人工林」それぞれの林相に応じた管理を行っています。この管理は「水源かん養機能」だけでなく、「生物多様性の保全」や「地球環境の保全」など、「森林の持つ多面的機能」の向上につながります。100年に渡る水源林管理と水源保全は、道志村と村民の皆様のご理解とご協力があってこそ成し得てきたものです。森林の管理は時間がかかります。今後も引き続き、水源林の管理とともに、道志村の豊かな「自然環境の保全」に努めていきますので、村民の皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくをお願いします。



横浜市水道局
水源林管理所長 温井浩徳さん



写真募集中（議会だよりに掲載させていただきます。）

広報常任委員会
委員長 杉本 秀明
副委員長 山口 力
委員 出羽 和平
委員 佐藤 定三

編集後記

2月の記録的な大雪で、被害に遭われた皆様衷心よりお見舞いを申し上げます。

前期議員の最後の編集後記に、この議会だよりを次期議員の手で「益々充実してもらいたい」と書かれておりました。「継続は力なり」と引き継ぎ、試行錯誤で取り組んだ結果、平成25年度山梨県広報コンクールで25年10月号（第20号）が奨励賞に入選しました。読みやすい、わかりやすい広報を目指して努力してきた結果だと思えます。今後も、皆様のご協力をお願いします。

（水越茂広）